

よく使われる用語説明 - 1 -

以下は、東燃ゼネラル石油の財務・事業に関連してよく使われる用語です。

◎ フリーキャッシュ・フロー (FCF)

当社では、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合算値をフリーキャッシュ・フロー (FCF) と定義しています。FCFは、財務活動以外の本来の事業活動によって生み出されるキャッシュ・フローを表しています。

(計算式) 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

◎ 後入先出法 (LIFO) に基づく低価法

「後入先出法」は当社が採用するたな卸資産の評価方法で、最も新しく仕入れたたな卸資産から順に払い出されると仮定して期末たな卸資産価額を計算する方法です。石油業界他社の原油購入コストは、日本に到着した時点を基準とする平均法に基づく評価が一般的であるのに対し、当社は積荷時点を基準とする後入先出法を採用しています (例えば、中東原油の場合、約1ヶ月の時間差が生じます)。これにより、国際市況商品である原油および石油製品の価格変動を速やかに当該会計期間の損益に反映することができます。

また、「低価法」は、期末の時価と原価を比較し、どちらか低い価格により、在庫を評価します。このように、「後入先出法に基づく低価法」は、価格変動の大きい原油および石油製品を扱う当社にとって、保守的かつ健全な会計方針であると考えています。

尚、在庫評価の影響は、在庫評価損益として損益計算書に影響しますが、非現金収支です。

◎ D/Eレシオ

D/Eレシオは有利子負債と株主資本 (少数株主持分を除く純資産) の比率を示し、財務の安定性を表す指標です。

(計算式) $D/Eレシオ = \text{有利子負債} \div \text{株主資本}$

尚、D/Cレシオも同様に財務の安定性を計る指標として使われます。

(計算式) $D/Cレシオ = \text{有利子負債} \div \text{総資本 (有利子負債 + 株主資本)}$

◎ 実質有利子負債

当社では、有利子負債から、現金と貸付金を除いたものを実質有利子負債と定義しています。

よく使われる用語説明 - 2

◎ ドバイ CIF

アラブ首長国連邦(UAE)の「ドバイ」で産出される原油は、アジアでの原油相場の指標銘柄となっています。当社では、業界紙が発表するドバイ原油価格に、当社理論計算上の保険料および運賃の比率を加えたものを「ドバイ CIF」として、原油コストの参考指標として表しています。但し、当社あるいは他社における実購入原油の構成は、ドバイ原油と比べて価格・品質等において大きく異なることがあることから、実際の原油コストはドバイ CIFと比べ大きくかい離することもあり得ます。

◎ C&F価格

Cost and Freightの略で運賃込みの価格を指します。

◎ FOB価格

Free On Boardの略で本船渡し価格を指します。

◎ 中間3品

当社では、灯油・軽油・A重油をあわせて中間3品と称しています。

◎ 業界石油マージン

当社では、石油情報センターが発表する製品価格からドバイCIF価格を除いたものを「業界石油マージン」と称しています。

◎ 稼働率

原油を最初に石油ガス、ナフサ、灯油、軽油、重油分等に蒸留分離する「常圧蒸留装置(トッパー)」の稼働率を指します。

(計算式) 原油処理量 / 暦年基準によるトッパーの生産能力

◎ BTX類

ベンゼン、トルエン、キシレン等を一括してBTX類と称しています。BTX類は、特有の匂いを持つものもあることから、芳香族類とも呼ばれます。

よく使われる用語説明 - 3

◎ 使用総資本利益率 (ROCE)

使用総資本利益率(ROCE)は、利払前税引後利益と、期首と期末の平均の株主資本と実質有利子負債の合計の比率として定義されます。使用総資本利益率(ROCE)は、企業の業績を測る上で有用な財務比率の一つで、企業運営に用いられた資金がいかに効率的に使われているかを示します。資本集約的で、長期の投資回収期間が必要とされる石油産業では、使用総資本利益率(ROCE)が資本の効率性を測る上で最も有効な指標であると当社は考えます。